

授業科目	薬理学				単位	2		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE21514J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	東 泉							
授業概要	<p>薬理学は、薬物と生体がどのように作用しあうかを学ぶ。  前半は、薬の作用のしかた、薬の有害作用、薬の効き方に影響する因子は何かを学ぶ。  後半は、汎用される主な治療薬について、なぜ効くのか、どのような有害作用があるのかを理解し、薬物療法に関する基礎的知識を身につける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の適切な取り扱いや保管に関する法律について説明できる。</li> <li>2. 薬物療法における薬の生体内運命を説明できる。</li> <li>3. 薬効に影響する因子について説明できる。</li> <li>4. 主な薬物の作用のしかた、薬理作用、有害作用を学び、説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	75	25	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	75	25	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルを十分達成し、臨床で使用される頻度の高い薬物の作用や副作用について理解し説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の適切な取り扱いや保管について説明できる。</li> <li>2. 薬物の生体内運命を説明できる。</li> <li>3. 薬効に影響する因子について説明できる。</li> <li>4. 主な薬物の作用のしかた、使用上の注意点を説明できる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:薬の種類 薬理学とは、薬の作用点について解説する。			講義 必要に応じてスライド、資料を使用		該当部分の予習・復習		30

2	テーマ:薬の生体内運命 投与された薬は体内でどのような運命をたどるのかについて解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
3	テーマ:薬の効き方に影響を与える因子 薬の効き具合を左右する薬剤側、生体側の因子について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
4	テーマ:薬の有害作用 薬のリスク、有害作用、相互作用(飲み合わせ)について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
5	テーマ:医薬品の取り扱い 医薬品を適正に管理するための法律や、取り扱い上の注意点について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
6	テーマ:末梢神経作用薬 自律神経系(交感神経、副交感神経)に作用する薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
7	テーマ:中枢神経にはたらく薬1 鎮静催眠薬や薬物依存を起こす薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
8	テーマ:中枢神経にはたらく薬 2 抗てんかん薬やこころの病の治療薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
9	テーマ:循環器にはたらく薬 心臓の疾患、血圧の治療薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
10	テーマ:血液にはたらく薬 貧血の治療薬、止血薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
11	テーマ:炎症をおさえる薬と抗アレルギー薬 抗炎症薬や抗アレルギー薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
12	テーマ:呼吸器・消化器系にはたらく薬 喘息、咳、腹痛の薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
13	テーマ:感染症と治療 学校で流行する感染症について、および抗菌薬について解説する。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
14	テーマ:抗感染症薬 抗ウイルス薬、消毒薬についての解説をする。	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・復習	30
15	テーマ:その他の治療薬、まとめ	講義 必要に応じてスライド、資料を使用	該当部分の予習・総復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	生化学・生理学の基礎知識があるとわかりやすいと思います。			
テキスト	教科書:看護学テキスト NICE 薬理学(荻田喜代一、首藤誠 編, 南江堂)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:薬がみえる(MEDICMEDIA)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テキストを読んでよくわからないところや深く知りたいところができたら、予習復習時に調べてみて下さい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験、小テストについては授業の中で指示します。			

